

# 出初式



消しましょう  
その火その時  
その場所で

1月4日、琴丘総合体育館を会場に平成29年三種町消防団出初式が行われました。

当日は団員337人が琴丘総合体育館に集合、祈願祭で今年の無火災を祈願した後、駐車場に移動して三浦町長や金子団長などの観閲を受けました。

式典は団員をはじめ来賓など約400人が出席して行われ、三浦町長は式辞で、「消防団員は、地域防災の核として、将来にわたり欠くことのできない代替性のない存在」であることを改めて確認するとともに、消防団員の充足率向上をめざし、消防団活動がしやすい環境整備と地域防災体制を進め、災害に強い町づくりに努めていくことなどを述べました。

金子団長は、10月8日に発生した大雨被害について触れ、1190世帯への避難指示・勧告の対応を迅速に行い被害を最小限に食い止めることができた事への感謝を



するとともに「無火災の年となるよう、消防団員の団結をより強固にし、町民の生命と財産を守るためいっそう努力することを誓う」と訓辞が述べられました。

また、永年にわたり消防人として地域のために活躍されてきた団員に対し秋田県知事表彰を行ったほか、秋田県消防協会長表彰など100個人および26団体を表彰しました。

授彰者を代表して、児玉達也さん（琴丘第3分団長）が「今日の感激を忘れることなく、町長はじめ、ご来賓の方がたから頂いた言葉を肝に銘じ、消防人として与えられた任務遂行のため、より一層精励する覚悟です」と謝辞を述べました。

最後に出席者全員で県消防の歌「われらあり」を斉唱し、万歳三唱を行って今年一年の無火災を誓い式典を終了しました。

